



Roche ロシュ グループ

# 2008年第1四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社  
取締役専務執行役員 兼 CFO  
児玉 龍三

2008.4.22

## 将来見通し

---

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示  
％は億円単位で表示された数字で計算

## 損益の概要（前年比）

【億円】	2007/3	2008/3	増減	増減
				(%)
売上高	911	662	▲249	▲27.3
売上原価	398	250	▲148	▲37.2
対製商品売上高	46.2%	37.9%		
営業費	190	194	+4	+2.1
対売上高	20.9%	29.3%		
研究開発費	119	118	▲1	▲0.8
対売上高	13.1%	17.8%		
営業利益	204	101	▲103	▲50.5
対売上高	22.4%	15.3%		
経常利益	212	102	▲110	▲51.9
対売上高	23.3%	15.4%		
四半期純利益	133	67	▲66	▲49.6
対売上高	14.6%	10.1%		

●売上高 ▲249億円（▲27.3%）  
P.4～ P.6参照

●営業利益 ▲103億円（▲50.5%）  
P.7参照

●経常利益 ▲110億円（▲51.9%）

●四半期純利益 ▲66億円（▲49.6%）

期中平均レート

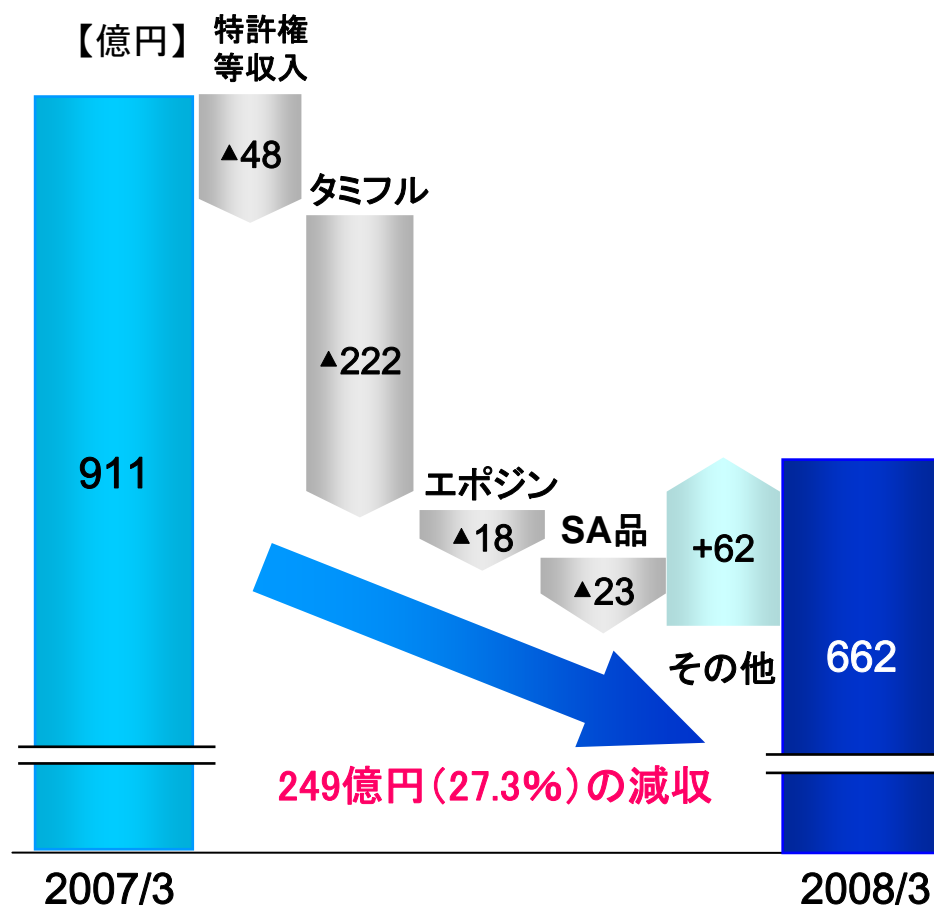
（前年）

119.41円 / US\$, 156.51円 / €, 233.43円 / £, 96.83円 / CHF

（当年）

105.43円 / US\$, 157.85円 / €, 208.56円 / £, 98.58円 / CHF

# 前年からの増減内訳（売上高）

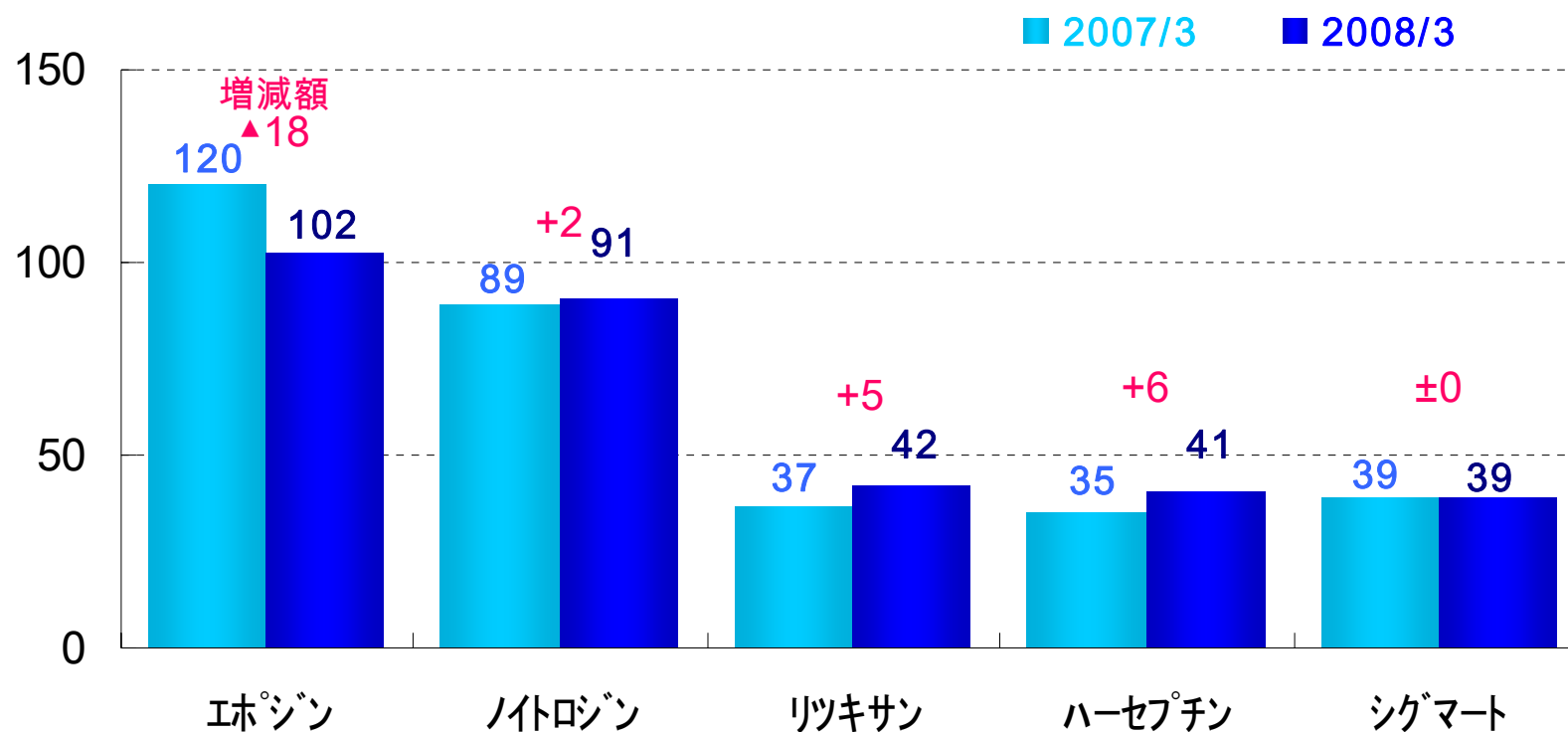


＜売上高の内訳＞

【億円】	2007/3	2008/3	増減	(%)
売上高	911	662	▲249	▲27.3
製商品売上高	861	659	▲202	▲23.5
タミフル	通常売上	49	▲36	▲73.5
	行政備蓄等	189	▲187	▲98.9
	計	238	▲222	▲93.3
タミフルを除く 計	623	644	+21	+3.4
エポジン	120	102	▲18	▲15.0
その他	503	542	+39	+7.8
特許権等収入	50	2	▲48	▲96.0
うち海外	91	78	▲13	▲14.3

# 上位5品目の売上高（前年比）

【億円】

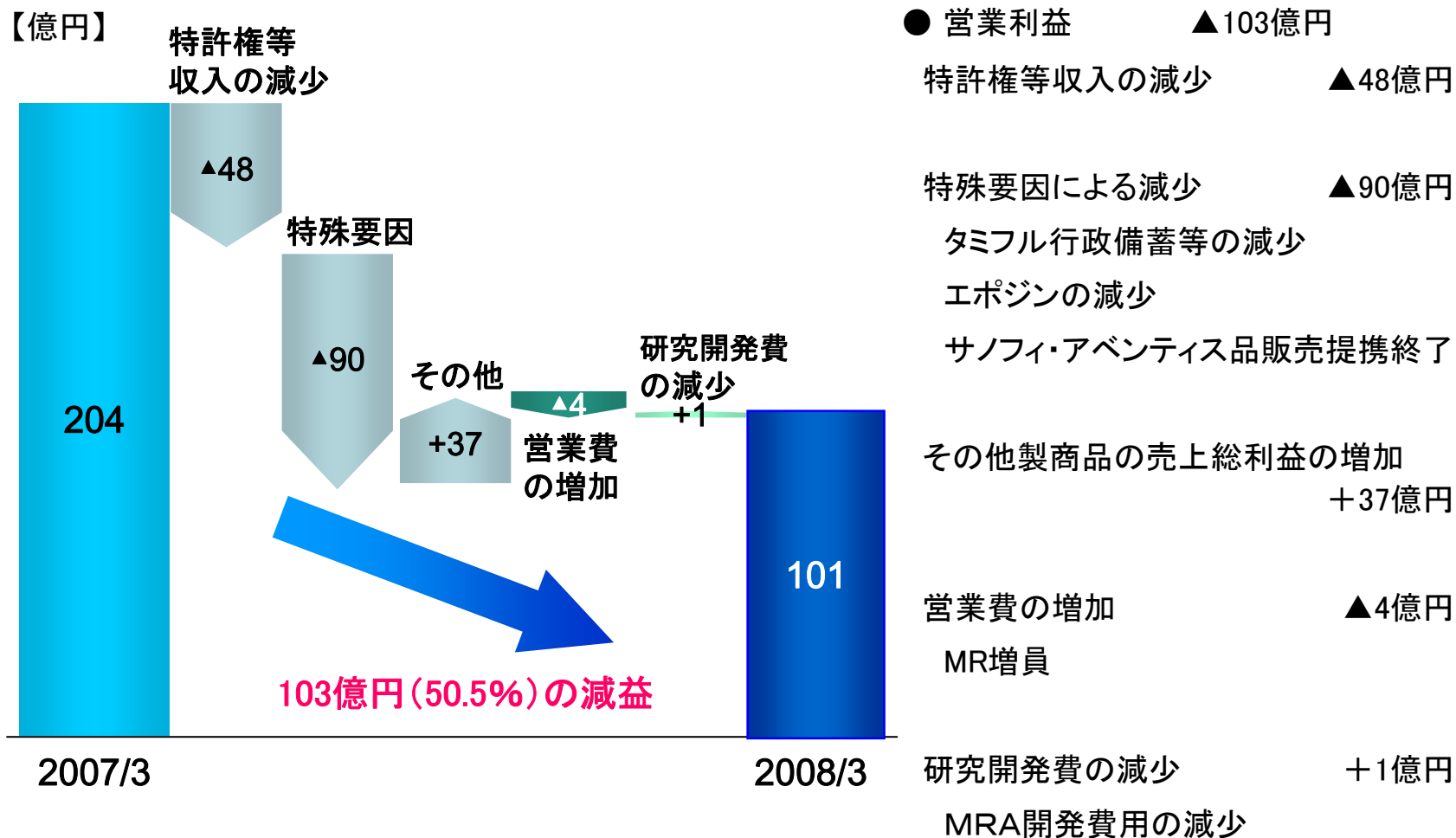


# タミフルの売上状況

【億円】	決算期売上												シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	2003年3月期		2003年12月期	2004年12月期		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年			
	10-12月	1-3月	4-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-3月			
シーズン 通常売上	2002/2003	52	72											<b>124</b>	<b>1.19</b>
	2003/2004			116	72									<b>188</b>	<b>0.77</b>
	2004/2005					14	232							<b>246</b>	<b>1.47</b>
	2005/2006							119	99					<b>218</b>	<b>0.92</b>
	2006/2007									37	50			<b>87</b>	<b>1.01</b>
	2007/2008											52	13	<b>65</b>	<b>0.65*</b>
<b>通常売上</b>		<b>124</b>		<b>116</b>		<b>86</b>		<b>351</b>		<b>136</b>		<b>102</b>	<b>13</b>		
行政 備蓄等	2005/2006							2	65					<b>67</b>	
	2006/2007									179	189			<b>368</b>	
	2007/2008											96	2	<b>98</b>	
<b>行政備蓄等</b>								<b>2</b>	<b>244</b>		<b>285</b>	<b>2</b>			
<b>合計売上</b>		<b>52</b>	<b>72</b>	<b>116</b>	<b>72</b>	<b>14</b>	<b>232</b>	<b>120</b>	<b>163</b>	<b>216</b>	<b>238</b>	<b>148</b>			
		<b>124</b>		<b>116</b>		<b>86</b>		<b>352</b>		<b>380</b>		<b>387</b>			

\* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬の合計患者数 (2007-2008年シーズンは推定値)

# 前年からの増減内訳（営業利益）



# 業績予想の修正

【億円】	中間			通期		
	1月30日 発表	今回修正	修正額	1月30日 発表	今回修正	修正額
売上高	1,482	1,500	+18	3,270	3,350	+80
営業利益	125	190	+65	315	430	+115
対売上高	8.4%	12.7%		9.6%	12.8%	
経常利益	127	190	+63	312	422	+110
対売上高	8.6%	12.7%		9.5%	12.6%	
当期純利益	71	155	+84	170	290	+120
対売上高	4.8%	10.3%		5.2%	8.7%	

## <修正の主な理由>

- 売上高 +80億円  
薬価改定率の差異  
特許権等収入などの増加
- 営業利益 +115億円  
ロシュ品供給価格改定
- 当期純利益 +120億円  
アクテムラ共同開発精算金





tech ロジックグループ

# 研究開発の状況

中外製薬株式会社

常務執行役員

ポートフォリオマネジメントユニット長

研究担当

有沢 幹雄

2008.4.22

## 2008年1月～4月主要R&Dトピックス

---

- 2月 「R430（ゼローダ）」は、大腸がんを追加適応症として、単剤療法および「R435（アバスチン）」との併用療法を申請
- 2月 「R597（ハーセプチン）」は、乳がん術後補助化学療法を追加適応症として承認を取得し、発売
- 3月 「EPOCH（エポジン）」は、原薬製法変更（無血清製法）を申請
- 4月 「MRA（アクテムラ）」は、関節リウマチ、全身型若年性特発性関節炎、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎を追加適応症として承認を取得し、発売
- 4月 「CIF(R7167)」は、導出先のロシュ社により海外にて臨床第Ⅰ相試験（予定適応症：固形がん）を開始

## **お問い合わせ先：広報IR部**

### **報道関係者の皆様：広報グループ**

Tel : 03-3273-0881

e-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)

**担当：山田、島田、荒木**

### **投資家の皆様：IRグループ**

Tel : 03-3273-0554

e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

**担当：内田、前田、清水、時田**